

## 令和5年3月第1回定例会一般質問事項（3／10・13）

### 1 辻 人志 議員（政友会） 【一問一答】

#### （1）防犯カメラ設置補助事業の創設を

- ・地域や家庭に防犯カメラを設置することは犯罪の抑止・防止だけでなく、地域の見守り活動の補完などにも役立つと考えるが見解は。
- ・一定の基準や条件を設けたうえで、防犯カメラを設置する行政区や家庭に対して機器の購入・設置などに掛かる費用の補助を行ってはどうか。

#### （2）市有財産の有効活用について

- ・市有財産のうち未利用・低利用の施設、および500平方メートルを超える未利用の土地について現状を問う。
- ・遊休化している市有財産について、ここ数年の推移を伺うとともに、それらを売却・貸付・用途変更などを行って有効活用した主な事例を伺う。
- ・老朽化し有効活用できない未利用施設について、解体などを予定している物件はあるか。
- ・遊休化している市有財産への対応は担当課だけでなく、地域住民の意見も取り入れながら、市内において横断的に検討すべきと考えるが、見解は。併せて、今後の取り組みについて伺います。

### 2 鍋嶋 邦広 議員（創政会） 【一問一答】

#### （1）未来志向の空き家対策、空き家・空き店舗活用および既存商業施設のリニューアル支援策について

- ・三国町内の空き家の実態をどのように把握・分析しているか。
- ・未来志向の空き家・空き店舗の活用方法の具体策はあるのか。
- ・三国湊エリアのブランド化に向けて、都市計画の見直しや条例の制定等の検討はされているのか。
- ・坂井市都市計画審議会での調査審議はどのようになっているか。
- ・DMOさかい観光局で取り組んでいる「美食の郷越前坂井推進事業」との連動は検討しているか。
- ・東尋坊商店街リニューアル支援事業補助金のような、町なかの空き家・空き店舗や既存商店のリニューアル支援事業や民宿等宿泊施設のリニューアル支援事業補助金の新設・拡充も必要と考えるが、市としての所見を伺う。
- ・寄附市民参画制度でも採択された、無電線化による観光地の景観向上と環境改善事業の進捗はどのようになっているか。

#### （2）ディスクゴルフ世界大会および『GREEN FLASH FES』のレガシーについて

- ・ディスクゴルフの世界大会開催を記念し、またディスクゴルフの聖地として、坂井市海浜自然公園の整備計画の中に、ディスクゴルフのコースを残すべきと考えるが、市としての所見を伺う。
- ・『GREEN FLASH FES』の開催を機に、野外での音楽フェス（リゾー

ト型フェス)のモデル地区としての定着・継続を推進していくべきと考えるが、市としての所見を伺う。

(3) ヤングケアラーへの支援事業について

- ・本市において、ヤングケアラーの発見・配慮・働きかけ等はどのように行っているか。いわゆるアウトリーチの体制づくりは出来ているか。
- ・本市において、ヤングケアラーの存在は確認できているか。また、その子どもに対し、どのような取り組みをしているか。
- ・今年度、ヤングケアラー支援体制強化のための国の予算(ヤングケアラー実態調査事業・研修推進事業)も出ているが、活用しているか。また、来年度に向けての本市の取り組みについても所見を伺う。

(4) 令和4年度中に寄附市民参画制度で採択された各プロジェクトについて

- ・採択された以下のプロジェクトについて、それぞれどの部署が担当し進めていくのか、具体的なロードマップを示してもらいたい。
  - ① 暮らしの学び舎づくりプロジェクトについて(目標:3,520万円)
  - ② 稼げる産業の創出へ 更なる成長を目指す中小企業支援事業(目標:4,500万円)
  - ③ 坂井市版Ma a S~ワクワク楽しい交通手段を実現(目標:1億4,000万円)
  - ④ 次世代につなぐ、本市の梨産地支援事業(目標:5,000万円)
  - ⑤ 大学生を対象とした長期インターンシップ事業(坂井市で活動するプレイヤーを育む)(目標:1,881万円/1,208万円=達成率64.22%)
  - ⑥ 結婚応援日本一プロジェクト(目標:2億円)
  - ⑦ ふるさと同窓会支援事業(目標:2,700万円)
  - ⑧ インクルーシブ公園・遊具の整備事業(目標:1,500万円)
- ・ふるさと納税で集まった寄附金のうち、使い道の指定がない寄附額はいくらあるか。余剰分を含め積極的な使い道を検討すべきと思うが、市の所見を伺う。

### 3 岡部 恭典 議員(創政会) 【一括】

(1) 農業・農村の現状と課題について

- ・農業者の労働力の軽減と作業効率および収益を上げるためには、スマート農業の普及が効果的であるが、一方で導入コストの高さが障害となってくる。特に、中小規模の農業者が各自購入すると収益を逼迫する。そのため、複数の農業者が共同で購入し、「一家に一台スマート農機」ではなく「地域みんなで使うスマート農機」にするための支援策を構築してはどうか。
- ・本市の農業経営体は、農業法人、認定農業者、集落営農、そして中小規模農家がある。その中で、集落営農組織へのアプローチと支援策について伺う。
- ・県は、平成31年3月に「新ふくい農業基本計画」を策定し、基本理念を「大規模な農業法人や専業農家から小規模農業者まで、すべての農家が活躍できる『農業新時代』」と掲げ、目指す姿として「農家全体の所得を最大化」「みんなが生きがいを持てる農業」「ふるさと福井の農村文化を昂揚」とした。本市として具体的にどのように取り組んだのか伺う。

- ・一般的に担い手は、農地と水の条件を見て耕作を受けるか否かを判断し、その条件に応じて作付けを含めた技術の適用を考える。農地と水が不利な条件のままでは耕作はできない。そのためには、県が中心となって事業費の農家負担がない土地改良事業の実施などを核として生産対策、経営対策を含めた総合的な支援策が必要と考えるがその見解を伺う。

#### **4 伊藤 宏実 議員（政友会） 【一問一答】**

##### (1) アンテナショップについて

- ・アンテナショップの愛称を募集し、2月中に公表するスケジュールと聞いていたが、未だ公表されていない。どうなっているのか。
- ・オープンに向けた準備状況はどうか。工事スケジュールや人員体制の準備などについて聞きたい。コンシェルジュとしての育成状況など。
- ・オープン前後のキャンペーン、宣伝計画などについて問う。
- ・オープン式典の開催要項などについて問う。

##### (2) 危機管理対策課の設置について

- ・「安全対策課」を「危機管理対策課」とし、対策監を置くこととした背景、理由等について、動機や経過についてお聞きしたい。
- ・危機管理対策課の業務分掌について問う。
- ・危機対策監の位置づけと役割について問う。
- ・本市における「危機」の概念について問う。

#### **5 廣瀬 陽子 議員（創政会） 【一括】**

##### (1) 不登校の取り組みについて

- ・不登校支援員とはどのような職務内容か。また市内には何名の支援員を確保しているのか。
- ・不登校の生徒への進路の提案をどのように行っているのか。
- ・不登校の子どもたちへのオンラインを活用した学習指導はどのように行われているのか。全国には、オンライン授業を拠点校から教員免許を持つ学習指導員が行い、学習支援、学習アプリを活用した自分のペースで学習、スクールカウンセラーがオンラインで相談対応をしている自治体がある。参加状況を月ごとに通っている学校に知らせ、参加日は指導要録上の出席扱いの対象となる。学びたいが学校に来られない児童・生徒が学習の機会を得るため、本市でもオンライン授業の検討をしてはどうか。
- ・子どもが不登校になった際、福祉サービスとの連携が必要と考えるが、不安を感じる家族に対するサポート体制はどのように行われているか。

#### **6 伊藤 聖一 議員（創政会） 【一問一答】**

##### (1) 県の福井空港利用案について本市はどのように受け止めているのか

- ・福井空港立地自治体として、本市は県の方針に対してどのように考えているのか。

##### (2) 県の補助事業への本市の協調補助金の在り方について

- ・現在の補助は県の補助金に上積みする方法だが、補助に該当しない場合は市の補助も適用外になってしまう。県の要綱以外でも補助適用が可能となる横出し補助の考えはできないか。

## **7 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団） 【一括】**

- (1) 「結婚応援日本一のまち」宣言において、LGBTQ、ジェンダーフリーなど、多様性の施策も必要
  - ・男女共同参画室をなくし、事業内容はそのままだが、結婚応援課という名称は多様性を認め合う中で、誤解を招かないか。
  - ・パートナーシップ導入、同性婚、選択制夫婦別姓制度に取り組むこと。
- (2) 明章小学校改修、給食用リフトを整備すべき
  - ・明章小学校の改修で、ランチルームがなくなり、給食は子どもたちが階段で運ぶことに。子どもたちの安全のためにも、給食用リフトを整備すべき。
- (3) たかむく古城ホールの音響、照明の改善を
  - ・たかむく古城ホールの音響、照明を改善すべき。

## **8 永井 純一 議員（公明党） 【一括】**

- (1) 移住・定住、結婚応援について
  - ・地域の奨学金の代理返還制度を導入する企業に対する行政からの支援制度を創設し、学生と企業と地域の活性化を図ることは大変有意義と考えるが、見解を伺う。
  - ・企業が行う代理返還制度に該当しない方に対して、市独自の奨学金の代理返還制度を創設することで、移住・定住、結婚応援につながると思うが見解を伺う。
  - ・移住・定住、Iターンなどで本市に来られ、結婚・出産された方の里帰り旅費の補助制度（例：年間2回、期限あり）は考えられないか。
- (2) ミライロID導入について
  - ・障がい者の移動や暮らしの利便性向上を推進するためのミライロIDの導入を求める。
- (3) 安心して安全な子育て環境の整備について
  - ・妊娠・出産時に10万円相当の支給方法を改めて伺う。
  - ・伴走型相談支援では、本市の実情に合ったものが必要と思う。既存の施策や新たなニーズに対応するものなど、現時点で考えている（決まっているもの、イメージしているもの）坂井市版子育て支援（妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援）について伺う。

## **9 戸板 進 議員（創政会） 【一問一答】**

- (1) 高齢者対策について
  - ・介護職不足について、資格取得を支援するほか、キャリアアップ促進や離職防止、定着に努めると述べているが、具体的にどのような対策を講じるのか。
  - ・福井大学と連携した「フレイル予防教室」を実施すると述べているが、福井大学とどのように連携し、どのような教室を開催するのか、具体的事業を伺う。

- ・フレイルサポーターなど住民主体の活動を通じた高齢者の社会参加・介護予防を推進すると述べているが、参加者がなかなか伸びない現状で、これからどのように事業を展開していくのか。
- ・フレイルチェック後のケアプラン作成について、今後検討してほしいと要望したが、その後の検討内容について伺う。

## 10 後藤 寿和 議員（志政会） 【一問一答】

### (1) 教育D X推進について

- ・本市におけるG I G Aスクールの進捗状況と教育D Xの取り組みは。
- ・教育D Xをする事で業務効率の改善の見通しは。
- ・小中学校のお便りや案内はペーパーレス化されているのか。また紙の年間使用枚数は。
- ・すべての児童・生徒がタブレットの持ち帰りが可能になったが、学習の内容は。
- ・文部科学省が推進しているM E X B I Tと学習 e ポータルの活用は取り入れる予定はあるのか。
- ・リモート授業に対する本市の考え方、進め方はどう考えているのか。
- ・不登校生徒に対するタブレットを活用した学習支援はどのように行っているのか。
- ・デジタルが身近になっている中での、I Tリテラシーやマナー教育の考え方や進め方をどのように進めているのか。
- ・デジタル普及により、コミュニケーション力、自分自身で考える力を伸ばす教育も必要と考えるが、どのように進めているのか。